



## 第25回長崎平和フォーラムに参加して

和興支部東京分会 佐藤 圭一

今回、第25回長崎平和フォーラムに親子で参加させて頂きました。自分は2007年に沖縄ピースステージにも参加しており、是非子供にもこのような平和行動を経験させてあげたいと思っていたので、半ば強引に長男を説得し参加する事にしました。

被爆者の方のお話や被爆遺構めぐりで、改めて戦争や核兵器の恐ろしさを親子で感じる事が出来ました。被爆者の方のお話では、当時被爆された人が差別されるのを恐れ今現在もなお、被爆した事を隠している事や、幼い子供が「喉が渴いた、水が飲みたい」と言いながら亡くなっていった話、被爆により目に見えない放射能を浴び、白血病や癌で亡くなり、まだ病気で苦しんでいる人もいる等々「ぞっ」とする話ばかりでした。

長男もいつになく話をよく聞き、原爆資料館でも真剣な表情で見学していました。戦争や核兵器の恐ろしさや、長崎に原爆が投下された日時1945年8月9日午前11時2分も覚えて帰りとても勉強になったと思います。

被爆者の方の思いである「世界の核兵器ゼロ」「ノーモアヒバクシャ」に向けてこのような平和行動は大変意義のあるものだと強く感じました。これからも大人から子供へとずっととずっと継承されていくようお願いしたいと思います。

最後に短い間でしたが、行動を共にした通建連合の皆様やスタッフの方々に心より感謝申し上げます。大変御世話になり有難う御座いました。